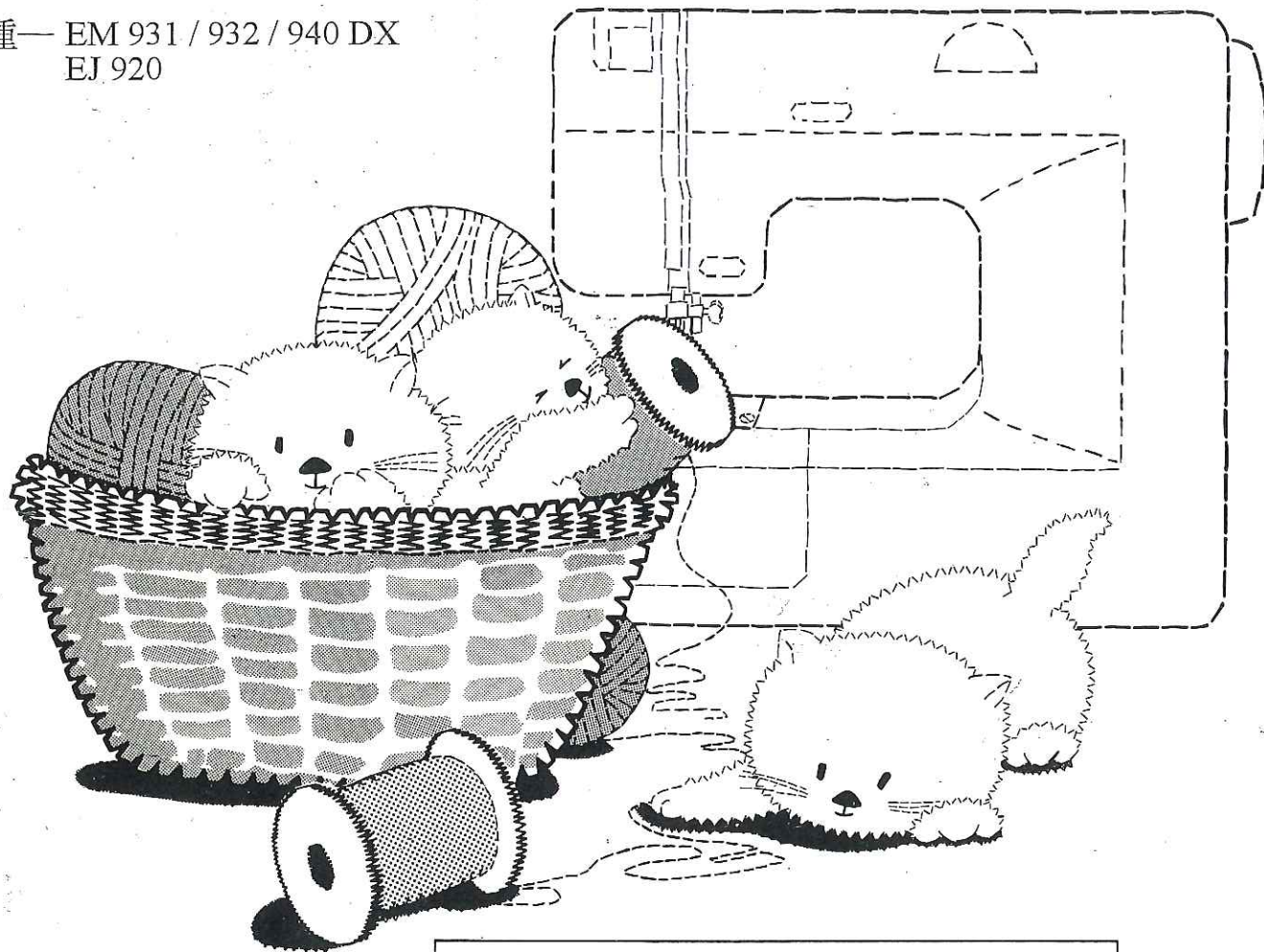


# コンパクトフリーアームマシン 取扱説明書

機種— EM 931 / 932 / 940 DX  
EJ 920



・ご使用前に必ず最後までお読みください。  
お読みになった後、必ず保存してください。

—暮らしを豊かにする—

**トヨタマシン**

## 安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用いただくために、以下のことから守ってください。  
このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY



### 警告—感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いてください。
  - ・ミシンのそばを離れるとき
  - ・ミシンを使用したあと
  - ・ミシン使用中に停電したとき



### 注意—感電、火災、けがなどの原因となります

1. ミシン操作時は、かまカバー、面板などのカバー類を閉じてください。
2. お客様自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないようにしてください。
4. 曲がった針はご使用にならないでください。
5. 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

6. お子様のご使用になるときや、お子様の近くで使用される場合は、特に安全に注意してください。
7. 以下のことをするときは、スピード切替ボタンを停止(切・OFF・■)にしてください。
  - ・針、針板、押え、アタッチメントを交換するとき
  - ・上糸、下糸をセットするとき
8. 以下のことをするときは、スピード切替ボタンを停止(切・OFF・■)にしてから、電源プラグを抜いてください。
  - ・ランプを交換するとき(ランプが冷えてから行ってください)
  - ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき
9. ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、お近くの販売店、または、サービスセンターにて点検、修理、調整をお受けください。
  - ・正常に作動しないとき
  - ・落下などにより破損したとき
  - ・水に濡れたとき
  - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
  - ・異常な臭い、音がするとき

## 目次





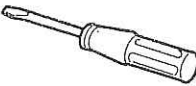


## ページ

1. 各部の名前と使いかた	1
2. 下糸の準備	2~3
ボビンのとりだしかた	2
下糸の巻きかた	2
下糸の通しかた	3
ボビンのいれかた	3
3. 上糸のかけかた	4~5
下糸の引き出しかた	5
下糸張力の合わせかた	5
4. 縫いかた	6~11
模様選択ダイヤル	6
直線縫い	6
返し縫い	6
縫いおわり	7
上糸調子の合わせかた	7
ジグザグ縫い	8
裁ち目かがり	8
三点ジグザグ縫い	9
まつり縫い	9
ボタンホール縫い	10~11
5. 針のとりかえかた	12
正しい針の選びかた	12
6. ランプの交換のしかた	12
7. 針、糸、布の組み合わせかた	13
8. ミシンのお手入れ	14
送り歯とかまのお手入れ	14
注油のしかた	14
9. ミシンの調子が悪いとき	15
10. ミシンの保管方法	16
11. 仕様	16
安全装置について	16
12. 修理サービスについて	17

●お客様に常に最新の縫製性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観デザイン又は付属品を変更することがあります。

## 付属品

※付属品は補助テーブルに入っています

	ジグザグ押え (ミシンについています。) 1個
	ボビン3個
	針#14-3本
	針#16-1本
	ドライバー(小)1個
	針板ドライバー1個
	糸通し1個

※電源コード(1個)-ミシン本体に入っています。(P1参照)

※取扱説明書(1冊)-梱包のふたを開けると上面に入っています。  
(クイックガイド)

# 1. 各部の名前と使いかた

\*当商品は薄物縫い時の布沈みを押さえるため、直線縫いの針位置が左になっています。正面から見ると針棒が斜めになりますが、故障ではありません。安心してご使用ください。

## 上糸調子ダイヤル

上糸の調子を調節します。  
9 の方向—強くなります。  
1 の方向—弱くなります。  
●(くわしくはP.7を見てください)

## スタート・ストップボタン

ボタンを押すとミシンは動き出します。もう一度押すと停止します。

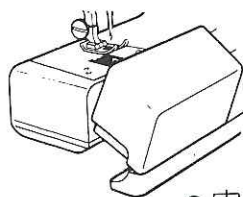


START(スタート) STOP(ストップ)  
●(かまに糸がからんだりしてミシンが止まったときはP.14の説明に従ってください)

押えしめネジ

押え  
針板

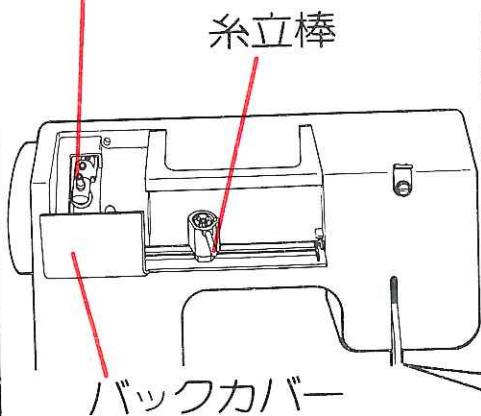
## 補助テーブル



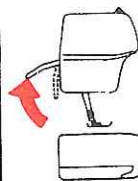
スポン。袖口などの筒物ぬいとき図のようにはずして使うと便利です。内側に付属品入れがついています。  
●内側に付属品が入っています。

(はずれる)

## 下糸巻装置(下糸巻軸)

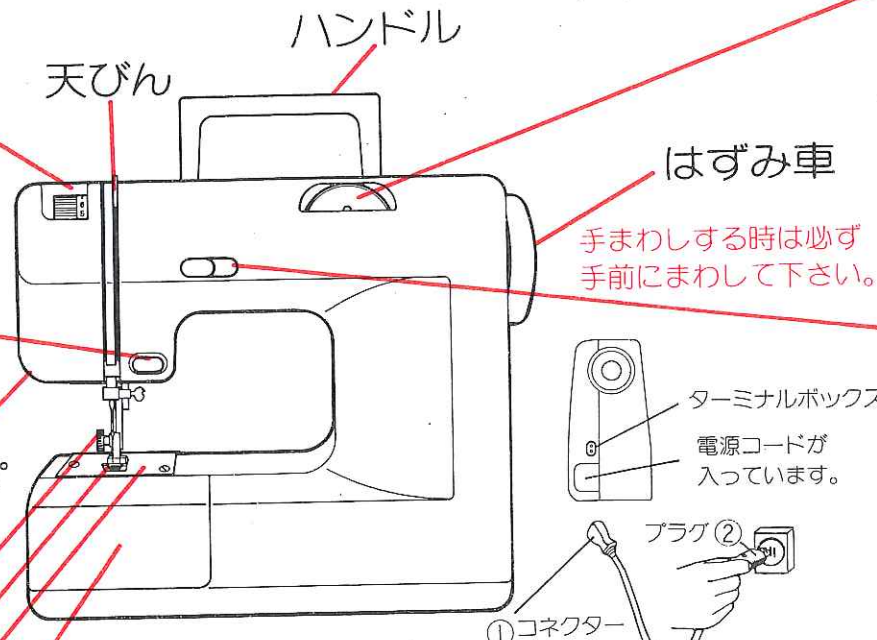


## 押え上げレバー



押え上げは2段階です。

矢印方向へいっぱい上げますと厚い布でもスムーズに入ります。



手まわしする時は必ず手前にまわして下さい。

## 模様選択ダイヤル

模様選択ダイヤルを回して、模様を選択します。

●回すときは必ず針を布より上にしてください。(くわしくはP.6を見てください。)

## スピード切替ボタン

OFF (切)    LOW (ゆっくり)    HIGH (はやい)

## 電源コードとランプ

ミシン本体に入っているコードを引きだしてコネクター①をターミナルボックスに差し込みます。つぎにプラグ②をコンセントに差し込みます。ランプが点灯します。

### △注意

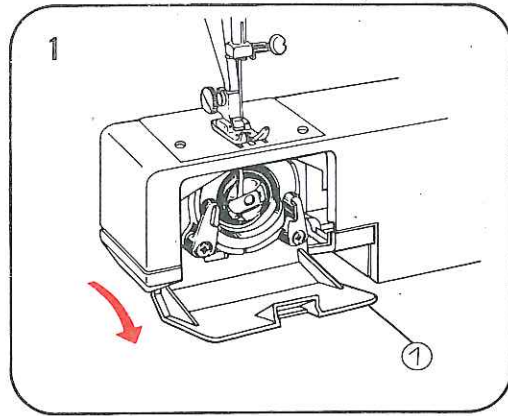
- ・プラグを差し込むときは、スピード切替ボタンを停止(切・OFF・■)にし、スタート・ストップボタンを"ストップ"にしてください。ミシンが動いてけがをする恐れがあります。
- ・電源コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷み危険です。必ずプラグを持って抜いてください。
- ・濡れた手でプラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

## 2. 下糸の準備

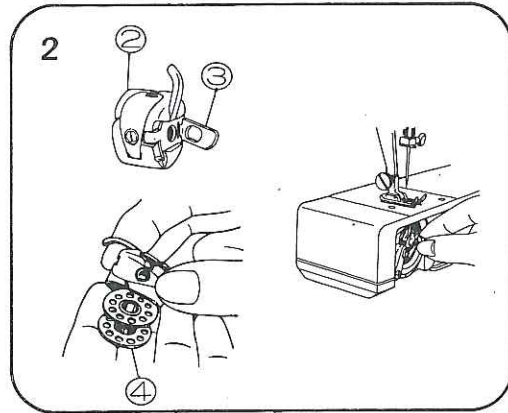
### ボビンのとりだし方

はずみ車を手前に回して針を最上点に上げます。

1. 補助テーブルを外しベッドカバー①を矢印の方向に開きます。



2. ボビンケース②のつまみ③を持ってボビンケースをとり出します、ボビン④をとり出します。

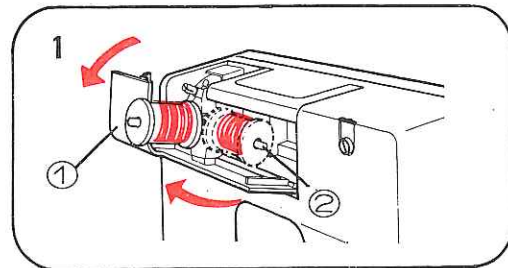


### 下糸の巻き方

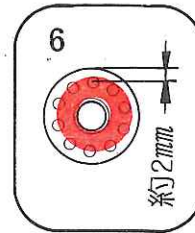
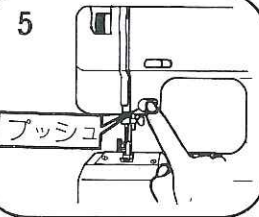
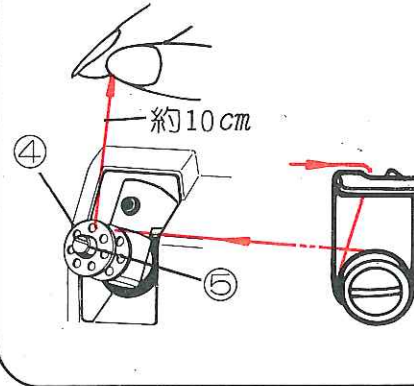
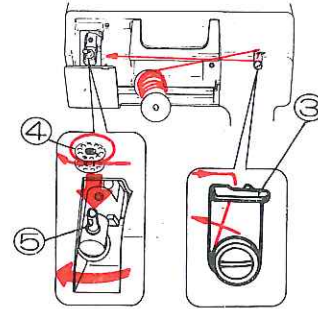
△注意

下糸を巻いているときも、針、天びん、はずみ車は動いていません。動いている部分にふれないでください。けがをする恐れがあります。

1. バックカバー①を開き糸立棒②を約90°回転させます。



2  
3  
4



2. 糸案内③に糸を通します。

3. ボビン④に糸を5~6回巻いて下糸巻装置(下糸巻軸)⑤に差しこんでください。

下糸がうまく巻けない時は、図のようにボビンの穴に糸を入れ下糸巻軸⑤に差しこんで巻く方法もあります。

(しばらく巻いたあと引張り出している糸を切りとってください。)

4. 下糸巻装置を矢印方向に移動させます。

5. スピード切替ボタンをHIGH▶▶にしてスタート・ストップボタンを押してスタートします

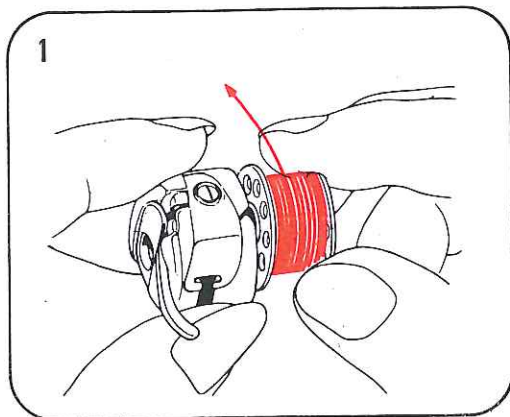
6. 図のように巻いたらスタート・ストップボタンを押して止めてください。

\* 巻きすぎないように注意しましょう。(約2mm位のこします)。多少、山状または谷状に巻けても縫いには差しつかえありません。

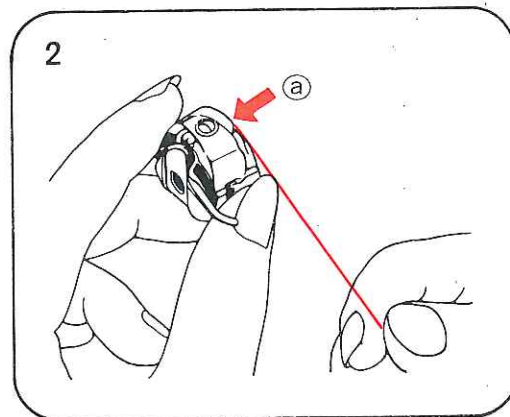
7. 下糸巻装置を矢印方向に移動させてもとの位置にもどします。ボビンを抜きとってください。

## 下糸の通しかた

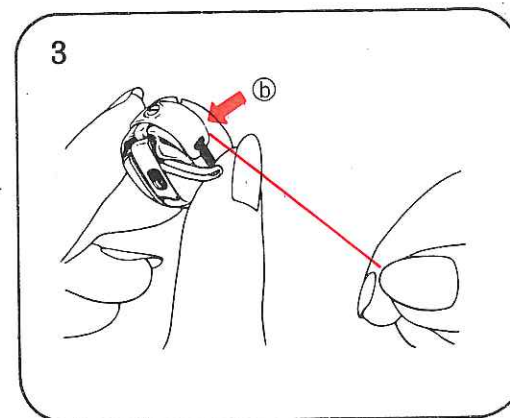
1. ボビンをボビンケースに入れます。



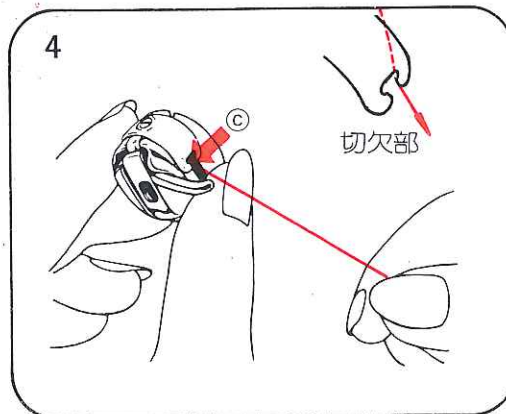
2. 切り込み①に糸をかけます。



3. 調子バネ②の下に糸をくぐらせます。



4

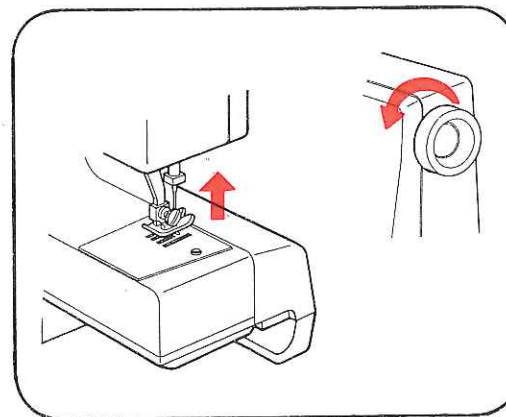


4. 糸を調子バネの先端切欠部③から出し15cmほど引き出してください。

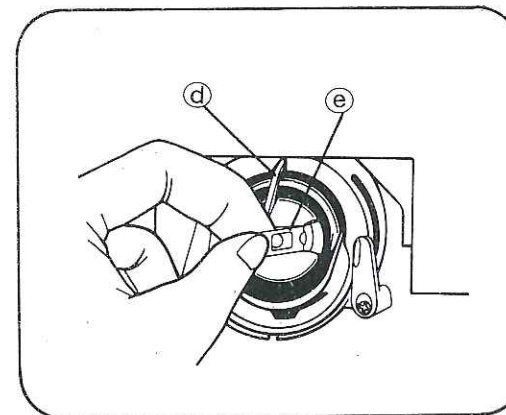
注) 下糸の合わせかたは5ページの「下糸張力の合わせかた」を参照ください。

## ボビンの入れかた

1. プーリー(はずみ車)を手前にまわして針を最上点にあげます。



2. ボビンケースをかまにセットします。  
ツノ④を真上にしてつまみ⑤を持ちツノをかまのみぞにはめてセットします。



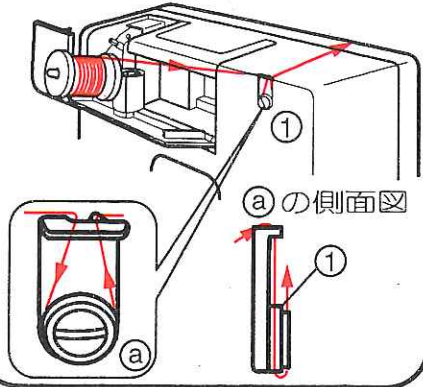
\* はずみ車を手前に手まわししてみてもボビンケースが正常にセットされているか確認してください。落ちる場合は再びセットしなおしてください。

### 3. 上糸のかけかた

#### 上糸のかけかた

- \* 上糸は正しくかけないと縫うことができません。糸をかける前に必ず行ってください。
  - 天びんに糸をかけやすくするためにはずみ車を手前に回して、天びんを最上点に上げます。
  - 糸調子皿に糸を確実にかけるために押えを上げます。
- 上糸は手順1～5の順番でかけます。

手順1.  
糸立棒の糸コマから糸案内①に糸をからませます。

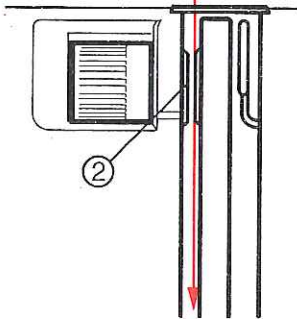


注) ①のように糸をかけて糸がすべりづらい、糸が切れる又は糸調子の取りにくい場合は、糸を②のようにかけてご使用下さい。

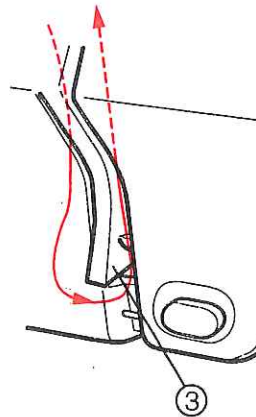
\* 糸案内①のネジをドライバーで緩めたり、締めたりしないで下さい。



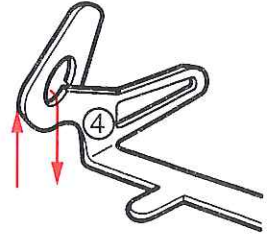
手順2.  
上糸調子皿②の間に糸をかけまっすぐにおろします。



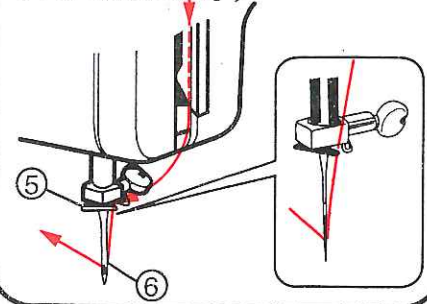
手順3.  
糸案内③に糸をかけて上にもつていきます。



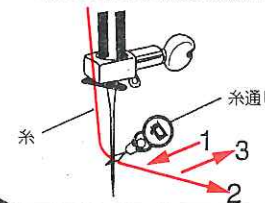
手順4.  
天びん④のスリット穴に確実に糸をかけます。



手順5.  
・天びんからおろした糸を糸案内⑤に左からかけます。  
・針⑥に糸を手前側からうしろに通します。  
(糸を15cmほど引き出しておいてください。)



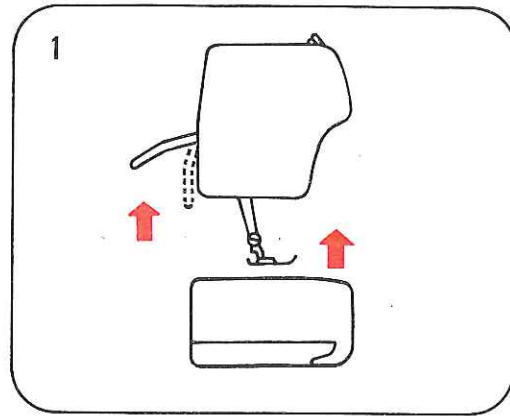
糸通しを使った糸の通しかた



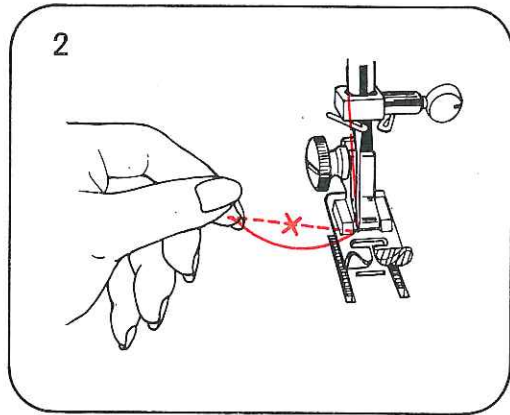
1. 糸通しを必ず針の後側から針穴にいれます。
2. 糸を糸通しの針金に通します。
3. 糸通しを針穴から抜くと糸が通ります。

## 下糸の引き出し方

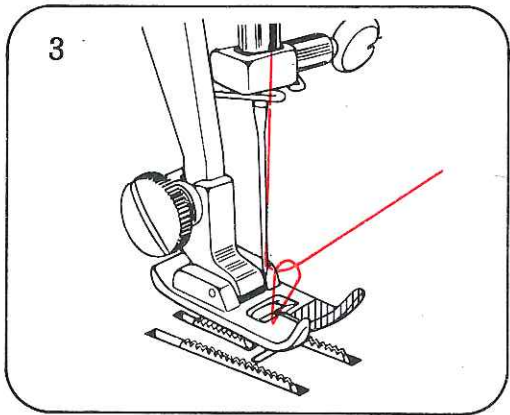
1. 押えを上げます。



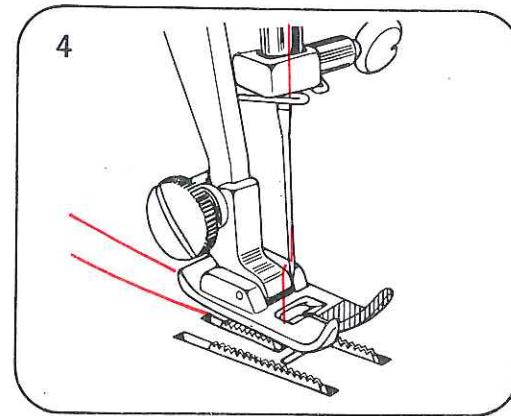
2. 上糸の端をつまんで、はずみ車を手前に1回転させ、天びんが上がりきったところで止めます。  
・下糸を引き出すときは上糸をたるませましょう。



3. 上糸を軽く引き上げると下糸が出てきます。



4.



4. 上糸・下糸をそろえて後側へ15cmほど出してください。

\* 糸を通したまま、はずみ車を逆回転しますと糸がらみ・糸切れの原因になりますのではずみ車は必ず手前に回してください。

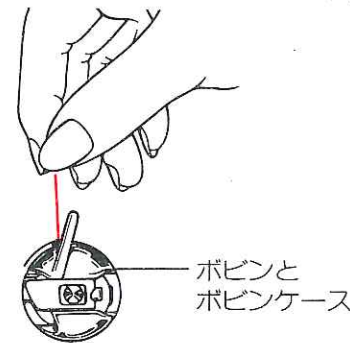
## 下糸張力の合わせ方

\* 下糸張力は下糸をかえる時のみ調節すれば十分です。

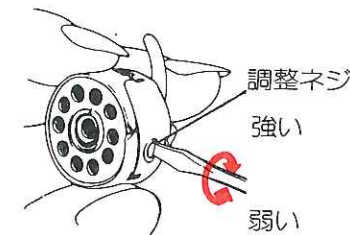
縫い目がしわになるとか縫い目に輪ができるのは上糸と下糸のバランスが正しく調節されていないからです。

ポビン（下糸）張力をチェックするかんたんな方法として、ポビンをポビンケースに入れ、図のごとくつり下げます。上下にかかる振ったとき、ゆっくりと下降する状態が、適当な張力です。

糸調子の張力調節は小さなドライバーを使い、ポビンケースの調整ネジをまわして行います。



ゆっくりとポビンケースが下降する





## 4. 縫いかた

### 模様選択ダイヤル

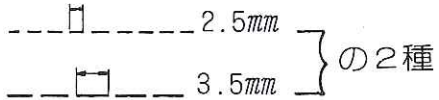
#### △注意

ミシン運転中は模様選択ダイヤルを回さないでください。ダイヤルを回すときはミシンを止め、針が布より上にしてから、行ってください。針が曲がったり、針が折れて、けがをする恐れがあります。

### 直線縫い

●針は最上点にあげておきます。

1. 模様選択ダイヤルを直線にセットします。



2. 押えを上げ、布を入れます。

3. 押えを下げ針を生地に一针おとしてからスタート・ストップボタンを押します。

●はずみ車を手前に手まわしながら1~2針縫ってからスタートさせますと、よりスムーズに縫えます。

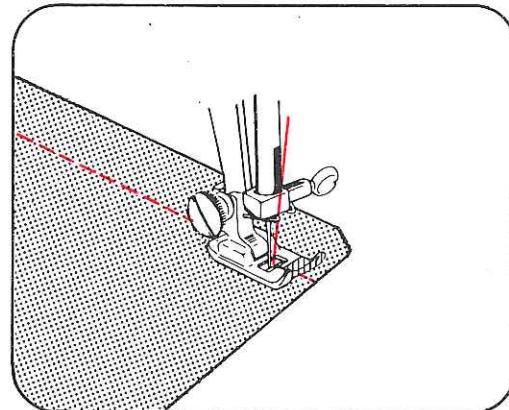
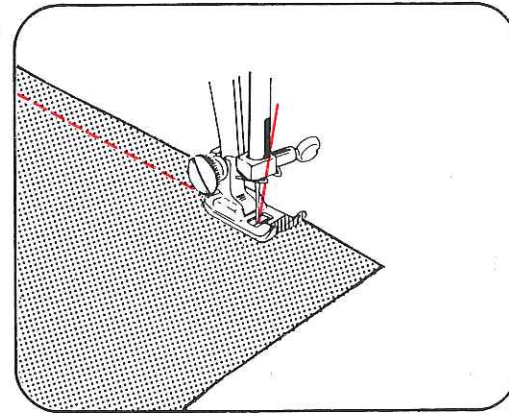
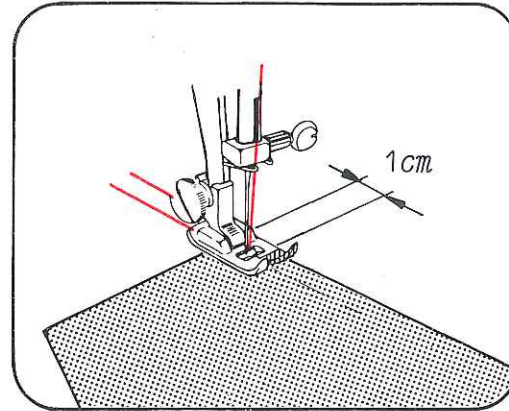
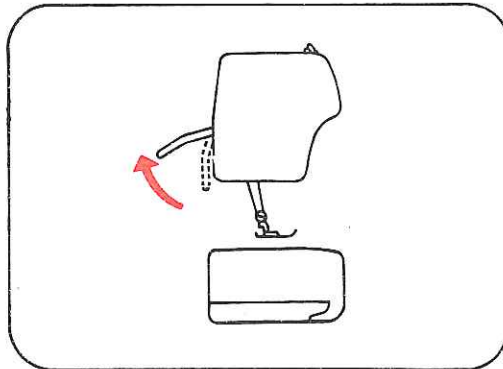
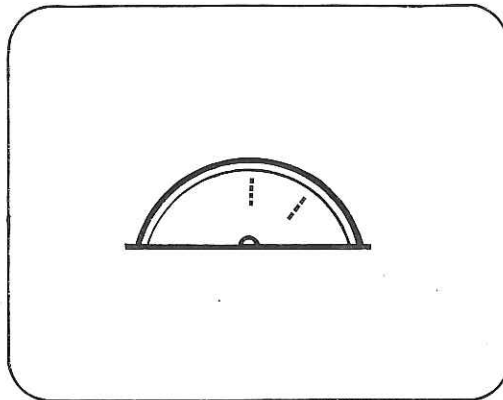
\*厚物縫いは「針・糸・布の組み合わせ方(P13)を参照してください。

\*段縫いはミシンを止め、押えを上げて布を少し送り込み、再度押えを下げると縫いやすくなります。

#### △注意

- 縫っているとき布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。針が折れてけがをする恐れがあります。
- ご使用中、普段と変わった音や臭いなどがしたら、ただちに使用をやめて、電源プラグを抜き、購入店、または販売会社のお客さま相談室にご連絡ください。

模様		↻	MMM	<	≡	□□
名称	直線縫い	返し縫い	ジグザグ縫い	ホシ縫い	三点ジグザグ	ボタンホール
用途	一般縫い	縫い始め	アバツチフリケケ	裾まじり	つちくろい縫い	ボタン穴かが



### 返し縫い

1. 縫い始めのほつれ止めをするときは布はしから1cmくらいのところに針がおちるようにセットします。

針を最上点にあげておきます。模様選択ダイヤルを↻にセットして返し縫いをします。

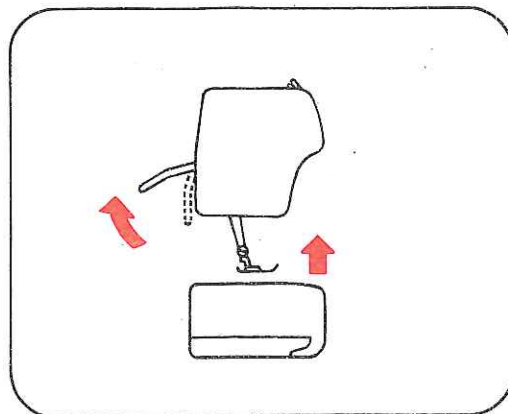
2. 針を最上点にあげておきます。模様選択ダイヤルを||又は||にセットして直線縫いをします。

3. 針を最上点にあげておきます。縫い終わりも、ダイヤルを↻にセットして3~4針返し縫いをします。

●縫い始め、縫い終わりが縫いにくい場合は、手で、はずみ車を手前に回して縫います。

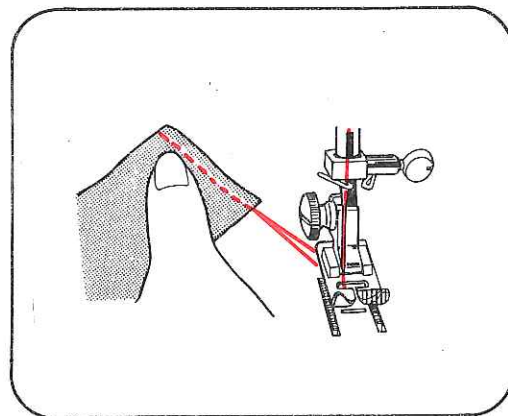
## 縫いおわり

1. 針を最上点まで上げて、押えも上げます。

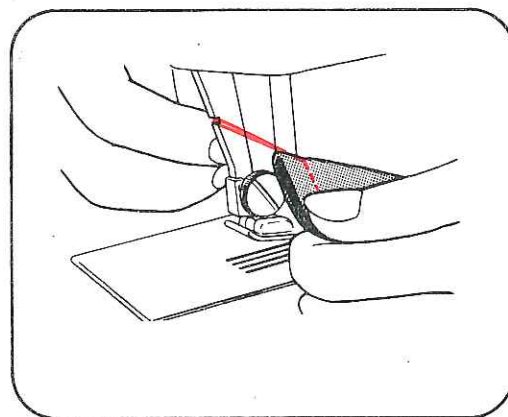


2. 布を引き出します。

布を引き出しにくい場合は針が最上点まで上がっているか確認してください。



3. 押え棒の裏側で糸を切ります。



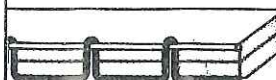
正常は縫い目

布表 上糸



下糸

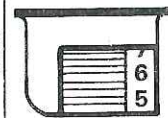
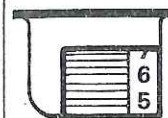
上糸の調子が強すぎる



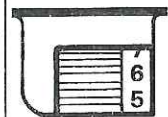
上糸の調子が弱すぎる



上糸調子ダイヤル



1の方向へ



9の方向へ

## 上糸調子の合わせかた

糸調子が正しく調節されていないと縫い目がきれいに仕上がらず、布にしわがよったり、糸が切れたりします。正しい糸調子とは上糸と下糸が布のまん中で交差して、糸のたるみ、布縮みのない状態をいいます。糸調子のだしかたは試し縫いをしながら上糸の強さを調節して行います。

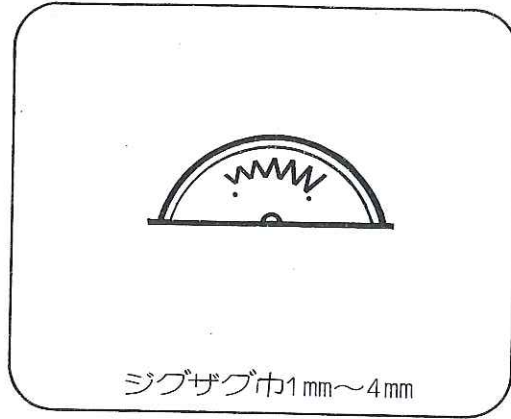
\* 糸調子のだしかたは、ためし縫いをしながら、上糸調子ダイヤルを動かして、上糸の強さを調節してください。

\* 上糸が布の下に多くでた場合、上糸調子皿の間に糸が入っておりません。もう一度P4を参照してください。

## ジグザグ縫い

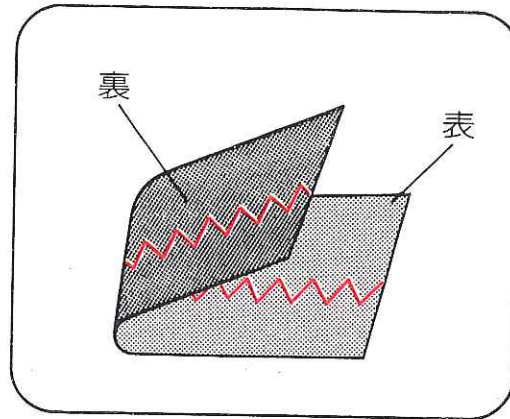
1. 模様選択ダイヤルをジグザグにセットします。ジグザグ巾は1mm~4mmまで自由に選択できます。

- 送り量は自動的にセットされます。
- 縫う前にためし縫いをしてください。



2. 上糸調子の調節

上糸を少し弱くして下糸が布上に出ないようにすると美しく仕上がります。

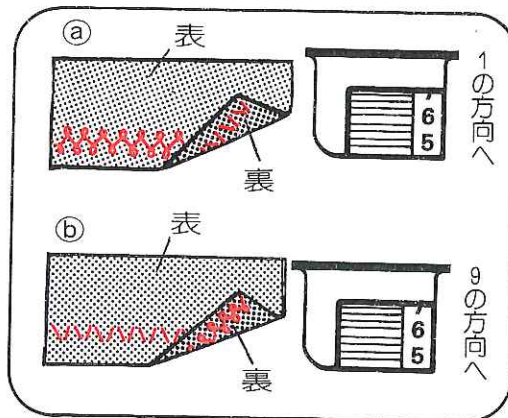


① 上糸調子が強すぎる場合

上糸調節ダイヤルを"1"の方向へ回します。

② 上糸調子が弱すぎる場合

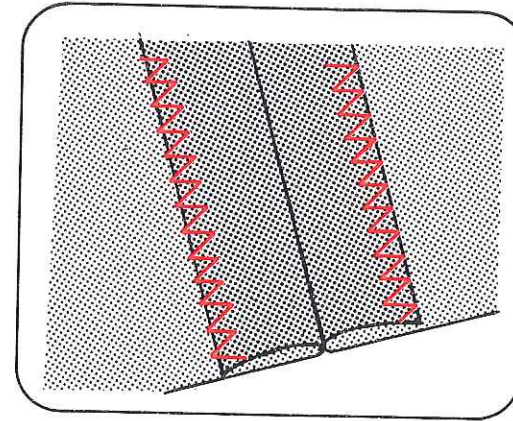
上糸調節ダイヤルを"9"の方向へ回します。



## 裁ち目かがり

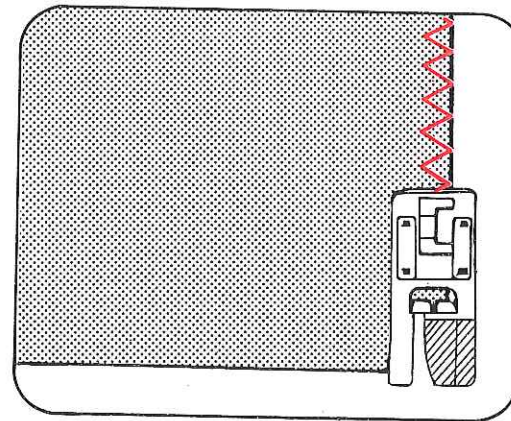
- 布端のほつれ止めを行います

1. 模様選択ダイヤルをジグザグにセットしやす。



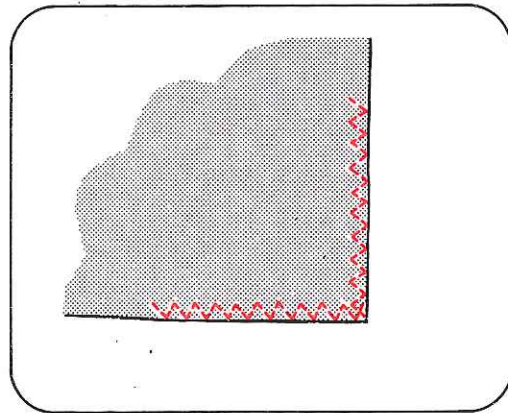
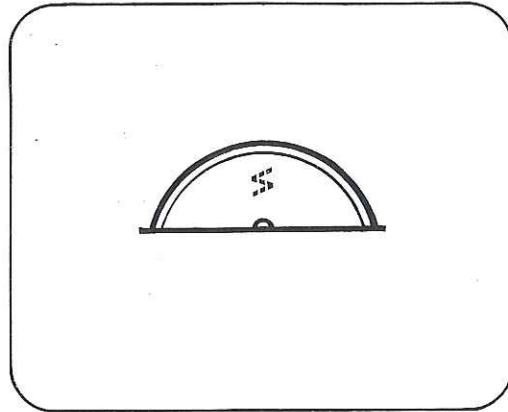
2. はずみ車を回して針が右側へきたとき、布端より少しはずれるように布の位置を決めます。

3. 押え上げレバーを下げ、縫います。



## 三点ジグザグ縫い

模様選択ダイヤルを☞にセットします。

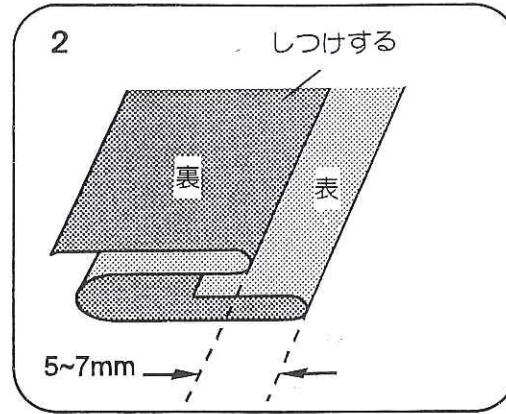
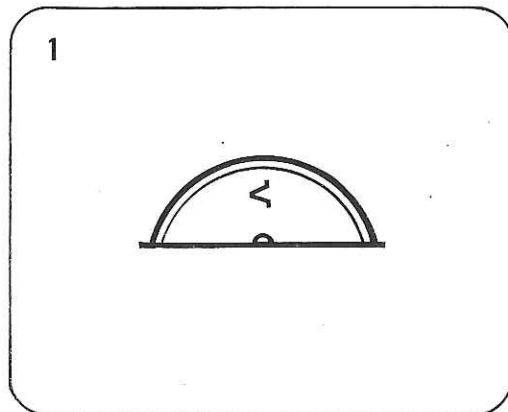


薄物、伸縮性の布地の裁ち目ががり及びつくり縫いに使用します。

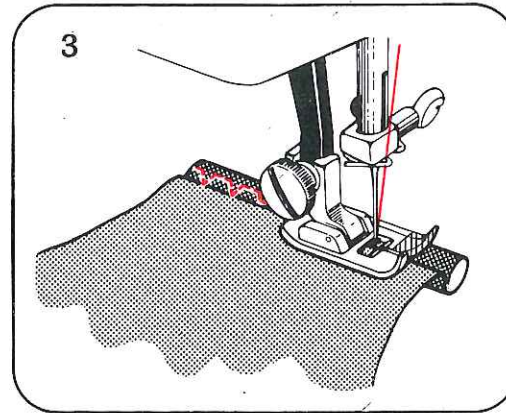
## まつり縫い

●布地の表面に目立たない縫い目を作る縫い方で、スポンセスカート の裾・袖口、袋物の口などの裁縫に用います。

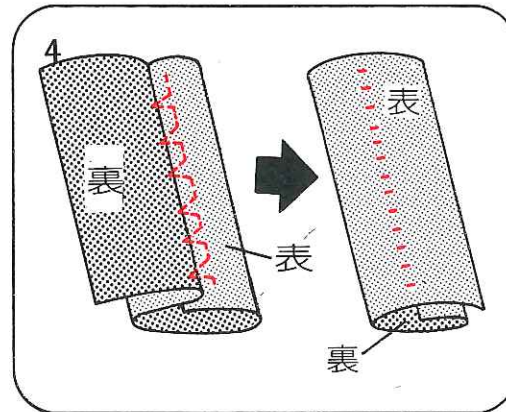
1. 模様選択ダイヤルを☜にセットします。



2. 布端を図のようにろつ折りにして、しつけ又はアイロンをかけます。



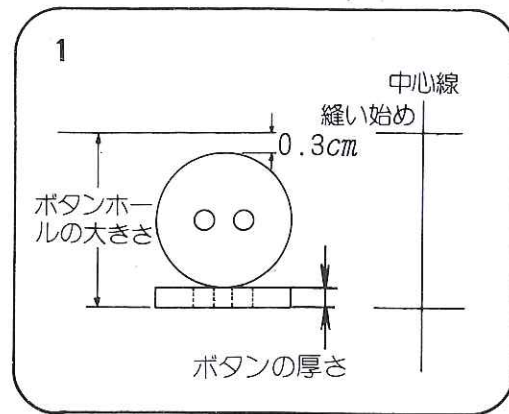
3. はずみ車をまわして針が左側へきたとき、折り山にわずかにかかると様、布の位置を決め押えを下げ縫います。  
●折り山にかかる縫い目が多すぎたり少なすぎたりしないよう注意しましょう。



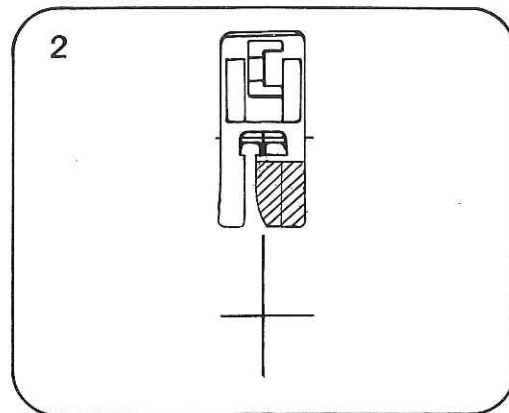
4. しつけを取り布を折り返します。

## ボタンホール縫い

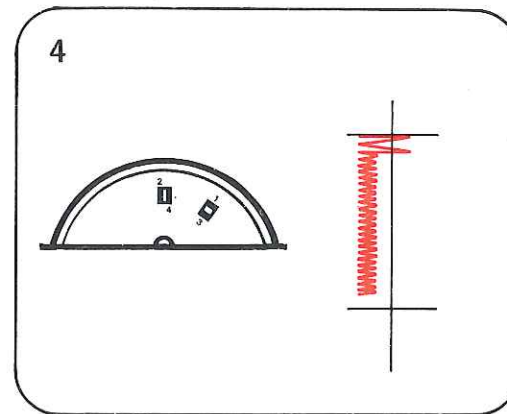
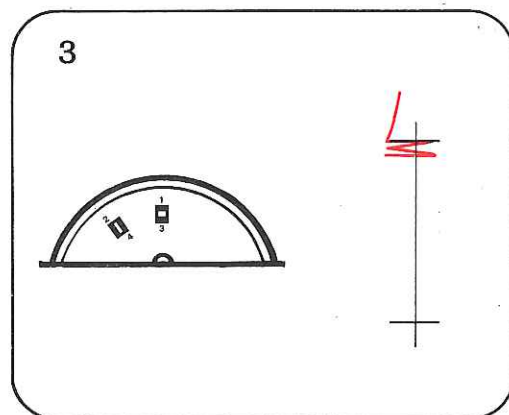
1. ボタンホールを決め布にしるしをつけます。  
(ボタンの直径+ボタンの厚さ+0.3cm)



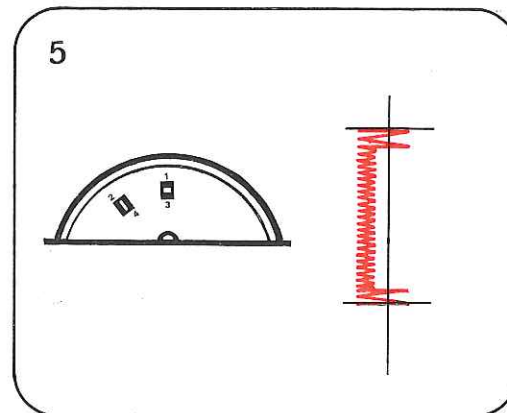
2. 中心線と押えの中心が合うように布をセットします。



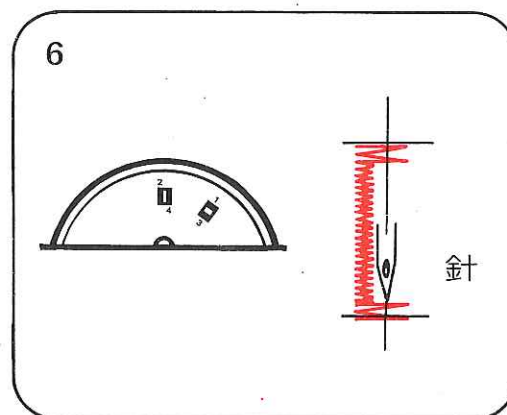
3. 針を最上点に上げダイヤルを□にセットします。  
かんぬき止めに5~6針縫います。  
(縫いすぎると押えにつかえボタンホール縫いができな  
いことがあります)



4. 針を最上点に上げダイヤルを|にセットします。  
左サイドを縫います。



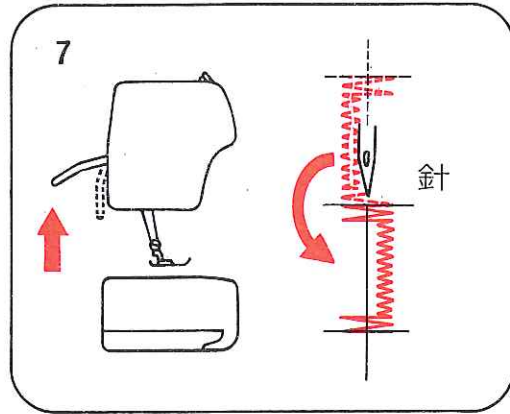
5. 針を最上点に上げダイヤルを□にセットします。  
かんぬき止めを縫います。  
5~6針縫って針が左から出  
てくるようにします。



6. 針を最上点に上げダイヤルを|にセットします。  
針を布に最下点までさし込み  
ます。

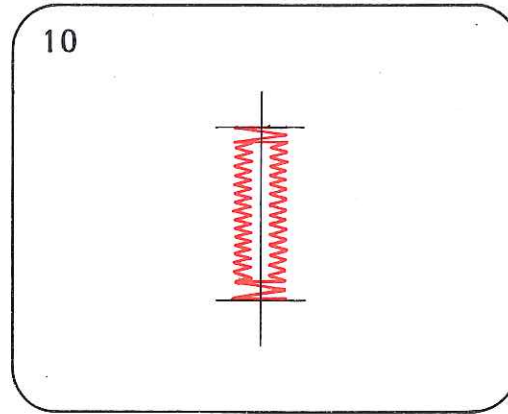
7. 押えを上げます。

針をさしたまま布を180°回転させます。

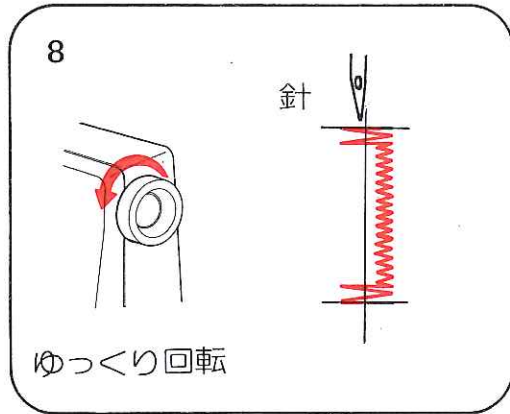


10.

もう片方のサイドを縫います。これで完了です。ミシンから布をはずします。

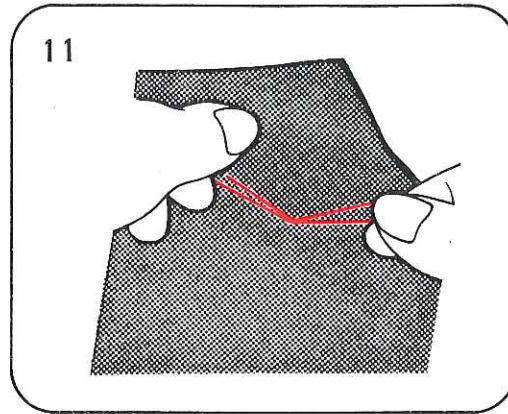


8. はずみ車を手で回転させ図のように針が布のすぐ上にくるようにします。

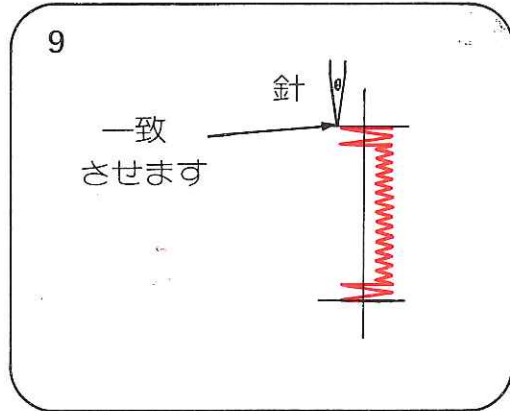


11.

11. 糸のほつれを防止するために、布をうら返して下糸をひっぱり、上糸をひきだして、しっかり結びます。

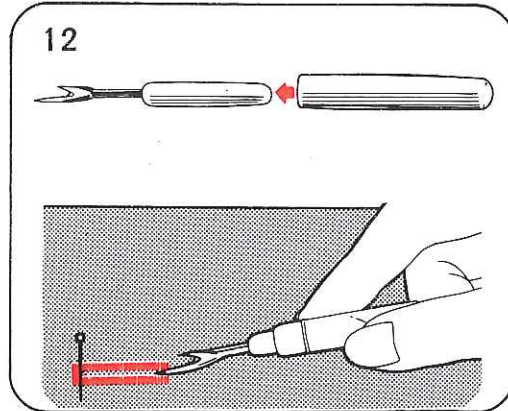


9. 針とかんぬき止めの左端が一致するまで布をずらします。



12.

12. 縫い目を切らないように中央を切り開きます。(市販のリッパー等をご使用ください。)



△注意  
 リッパーで切り込みをするとき、布を持つ手の位置に気をつけてください。リッパーで手にけがをする恐れがあります。  
 ●まち針をかんぬき部にさしておくとリッパーでの切り込みすぎを防ぎます。

## 5. 針のとりかえかた

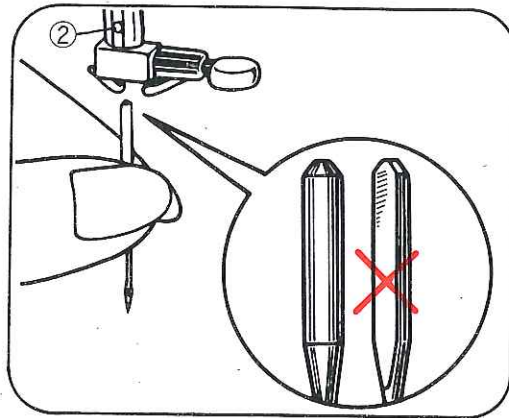
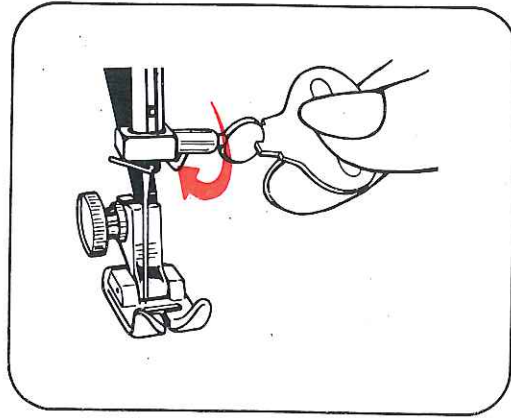
### △注意

- 針をとりかえるときは、スピード切替ボタンを停止(切・OFF・■)にしてください。ミシンが動いてけがをする恐れがあります。
- 折れた針は危険です。必ず回収してください。

1. はずみ車を手前に回し針を最上点にあげ、付属の針板ドライバーで針止めネジ①をゆるめて針を抜きとります。

- \* 針止めネジをゆるめすぎて針止めネジがはずれないよう気をつけてください。

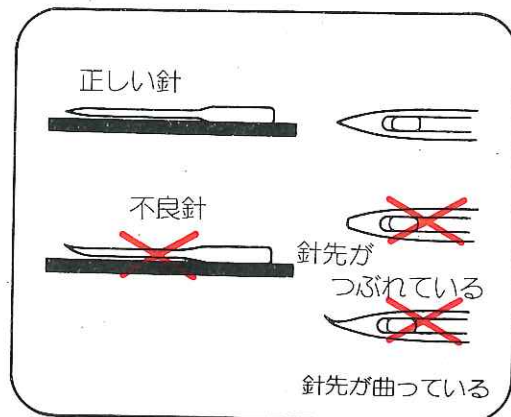
2. 新しい針の平らな面を向う側に向け、ピン②に当たるまで押し込み、針止めネジをしつかりしめます。



### 正しい針の選びかた

不良の針を使いますと、よく縫えないばかりでなく、針板やカマにキズをつけたり、針を折ったりします。

- \* 目とび、糸切れの場合、まず針を替えてみてください。

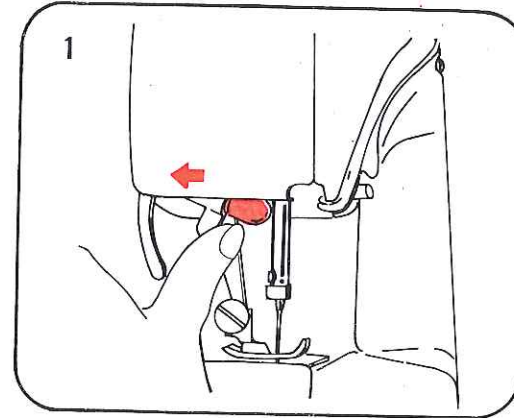


## 6. ランプの交換のしかた

### △注意

- ランプを交換するときは、スピード切替ボタンを停止(切・OFF・■)し電源プラグを抜き、ランプの熱がさめてから行ってください。感電や、やけどの恐れがあります。

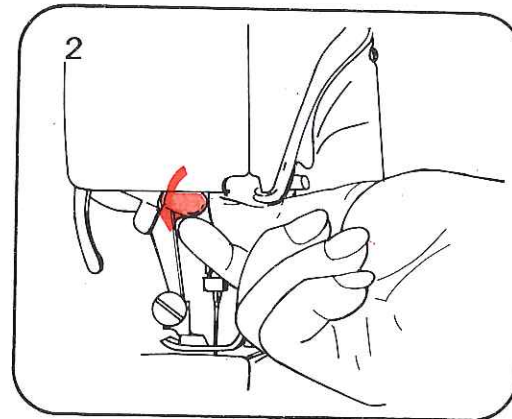
1. ランプ交換レバーを矢印の方向に押ししてください。



2. ランプは左方向に回してとりはずします。新しいランプは右方向に回しながらねじ込みます。

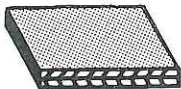
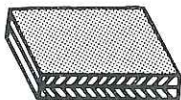
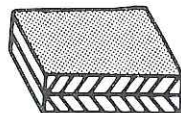



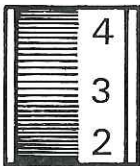
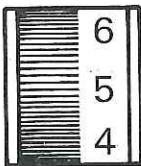
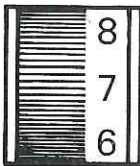
- \* ランプ交換後は、レバーを必ずもとの位置にもどしてお使いください。

- \* ランプは白熱ランプ100V5W口金、E-10とご指定の上、お近くの販売店でお買い求めください。



## 7. 針、糸、布の組み合わせかた

布地に合った針と糸を使用するのがきれいに縫うポイントです。糸のみ又は針のみ替えてもきれいに縫えない場合、下記表を参考にしてください。

		薄物縫い	普通物縫い	厚物縫い
				
針・糸・布地の関係	針 	65/9番～75/11番	75/11番～90/14番	100/16番
	糸 	ポリエステル90番 綿80番～120番 絹80番	ポリエステル50番～60番 綿60番～80番 絹50番～80番	ポリエステル30番～50番 綿40番～50番 絹50番
	布地 	薄物一般 裏地、ジョーゼット ローン等	木綿一般 ジャージ、リンネル、 ウール、サージ、 ギャバジン、シャーク スキン、サテン等	厚物一般 オーバーコート地、 テコム、ツイード、 カーテン地、帆布等
糸調子のとりかた	上糸調子	 ふつうよりよわく	 ふつう	 ふつうよりややつよく

- しん縮性の布地の縫い合わせのときにはボールポイント針を使用してください。
- ミシン針は家庭用(HA-1)のミシン針をご使用ください。



## 8. ミシンのお手入れ

- ミシンをいっまでも調子よくお使いいただくためにお手入れを月1回行ってください。

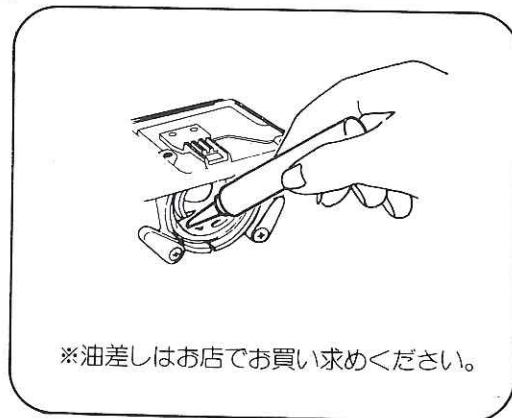
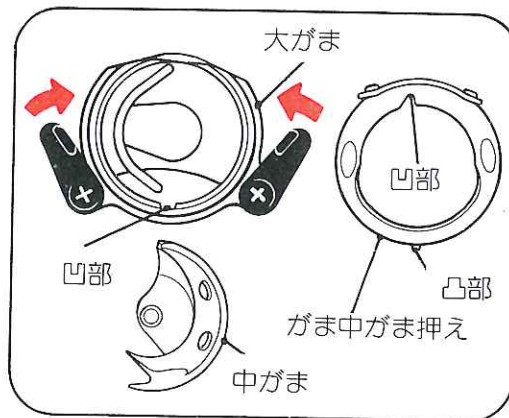
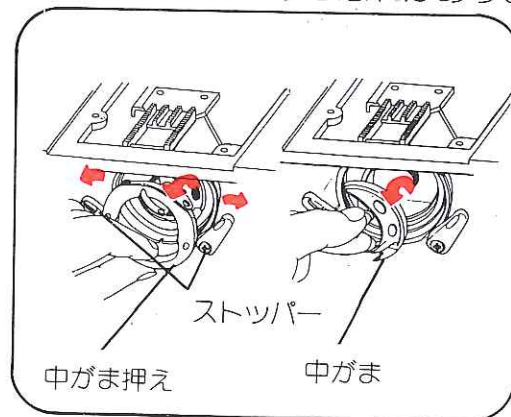
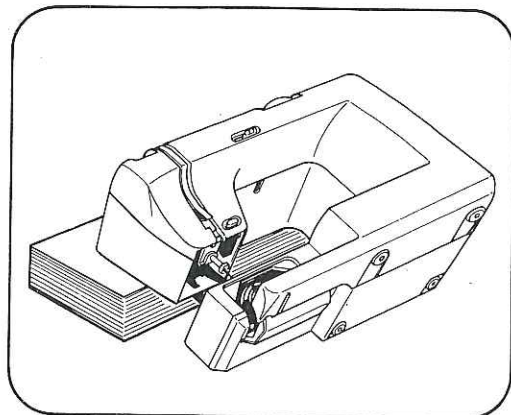
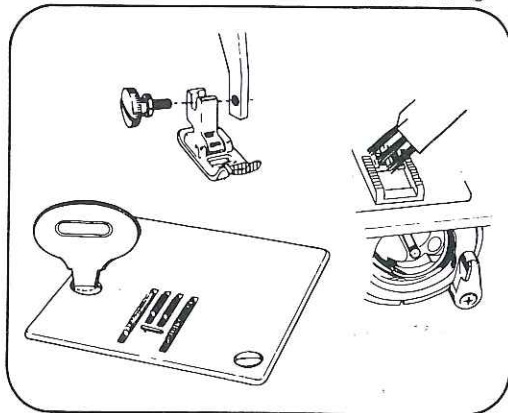
### 送り歯とかまのお手入れ

付属のドライバーで押えと、針板を外します。  
古い歯ブラシ等で送り歯をきれいにしてください。

- かまに糸がからんだりして、ミシンが止まったときには次のようにしてかまを掃除してください。
- かまを取りはずす場合、ご家庭の電話帳等をご利用いただいでその上にミシンを斜めにもたせかけるとより簡単にかまを取りはずすことができます。

### △注意

- ミシンのお手入れをするときは、スピード切替ボタンを停止(切・OFF・■)し電源プラグを抜いてください。ミシンが動いてけがをする恐れがあります。



ボビンケースをとりはずします。  
ストッパーを左右に開きます。  
中がま押えを取りはずし中がまも取りはずします。ブラシや、やわらかい布で中がまが回転するところをきれいにふいてください。

- 掃除機を使用すると便利です
- 掃除しても動かない場合は購入店へ修理を依頼してください。

かまの掃除が終了したら中がまを大がまのレール部に取り付けます。  
中がま押えの凸部を大がまの凹部に合わせて中がま押えを大がまにはめます。左右のストッパーをパチッと音がするまで内側に寄せます。

### 注油のしかた

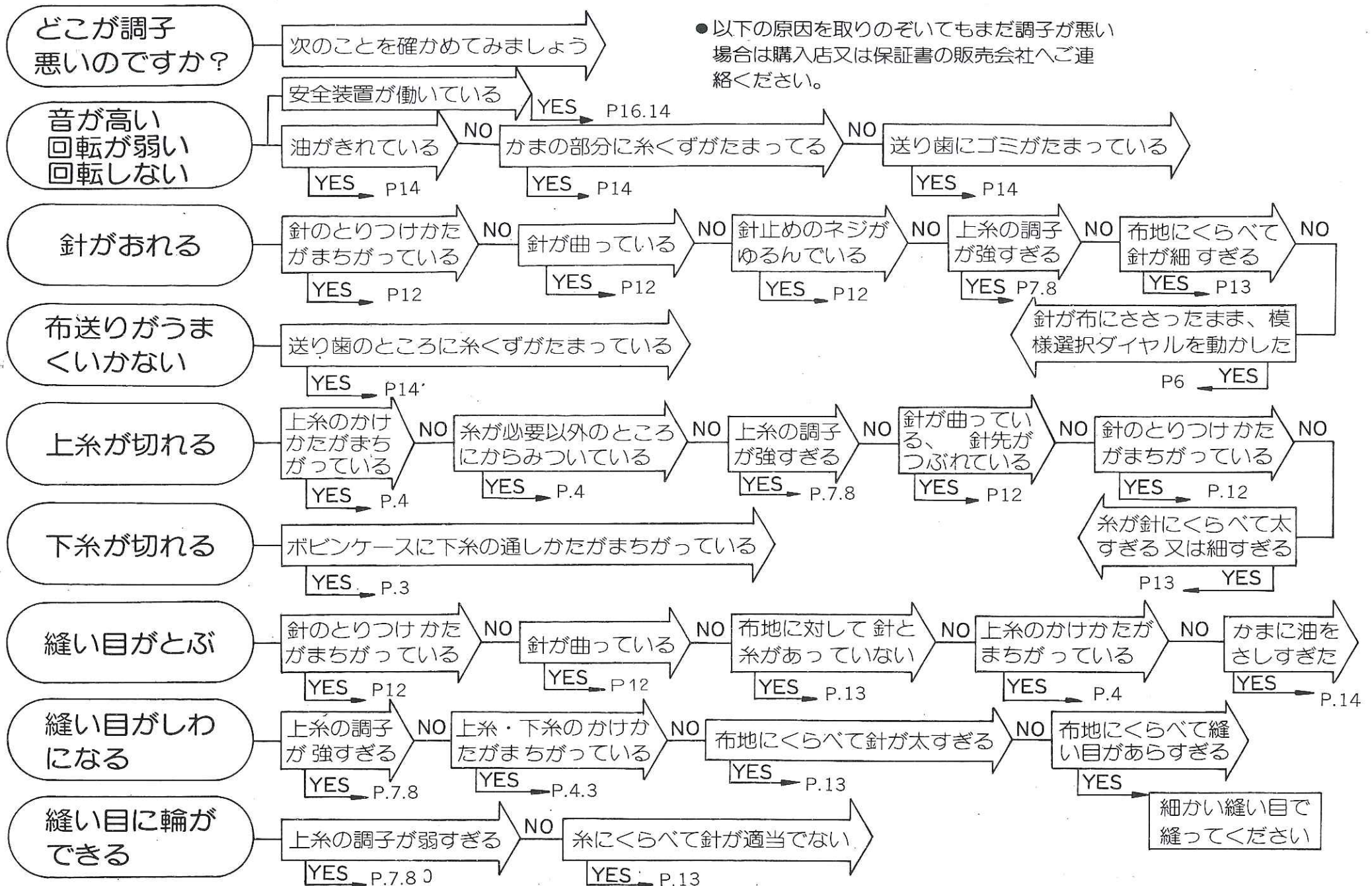
中がまが回転するところに、一滴注油します。

\* 注油が多すぎますと糸やボビンが汚れたり、縫い不良などトラブルの原因となりますのでごく少量にとどめてください。

- 注油後はご安心して使ってください。汚れてもよい布で必ず試縫いしてください。

## 9. ミシンの調子が悪いとき

● 以下の原因を取りのぞいてもまだ調子が悪い場合は購入店又は保証書の販売会社へご連絡ください。



## 10. ミシンの保管方法

保管するときには、次のことに注意してください。

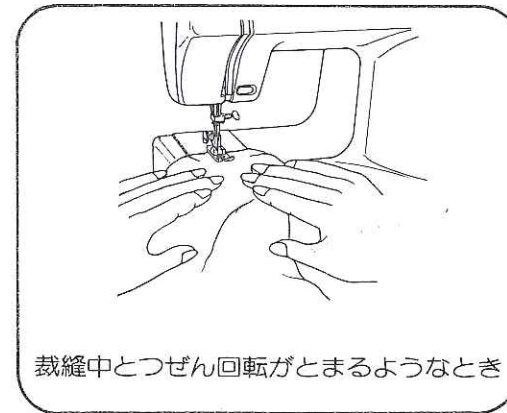
- ① 湿気やホコリの多い場所には置かないでください。  
(故障の原因となります)
- ② 直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。  
(フロントパネルや部品に悪い影響を与えます)
- ③ 不安定な場所に置かないでください。  
(落ちたり、倒れたりすると危険です。)
- ④ 逆さまや、横倒しに置かないでください。  
(故障の原因となります)
- ⑤ 油煙や湯気の当たる場所に置かないでください。  
(故障の原因となります)

## 11. 仕様

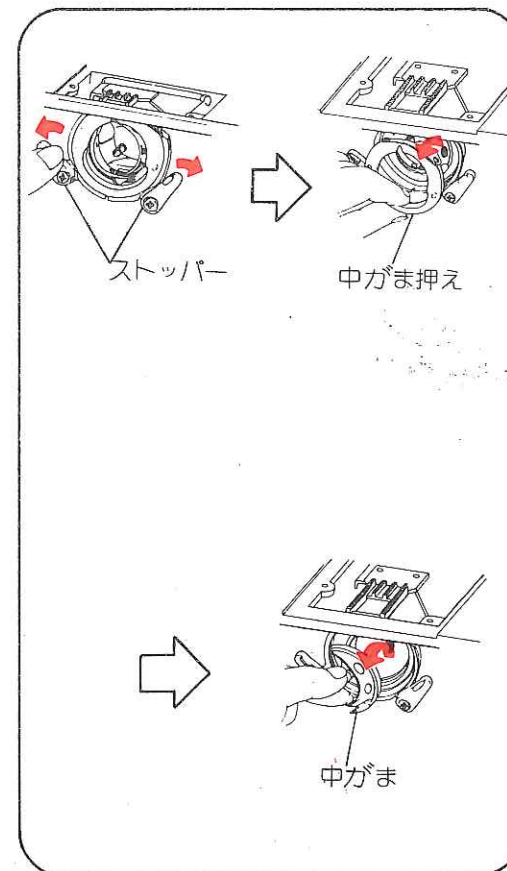
かまタイプ	垂直半回転がま
針	家庭用ミシン針(HA-1)
最大送り量	3.5mm
最大振幅	4mm
直線針基準位置	左基準
ボビン	市販ボビン
ミシンの重さ	4.2 kg
ミシンのサイズ (本体サイズ)	幅 : 290mm 奥行 : 130mm 高さ : 250mm
定格電圧	100V(ボルト)
定格周波数	50-60HZ(ヘルツ)
定格消費電力 (ランプ)	最大30W(ワット) (5W)

## 安全装置について

このミシンは安全装置がついています。何らかの異状でミシンの回転が止まっても約30秒すると自動的にモーターへの通電を止める装置がついています。—このような場合は次のステップでご確認ください。



裁縫中とつぜん回転がとまるようなとき



1. プラグをコンセントから抜いてください。
2. スタートストップボタンをストップにしてください。
3. P14ミシンのお手入れの説明にそつて、かまに糸くずやホコリがないかご確認ください
4. ミシンが止まって約1分しめすと自動的に正常に房ります
5. スタートストップボタンをスタートにせずとミシンは回転します。

## 12. 修理サービスについて

### △注意

お客様自身での分解、改造はしないでください。  
異常動作をして、感電や火災・けがをする恐れがあります。

### ★修理サービスのご相談

1. お買い求めのミシンには、購入店(保証責任者)から1年間の無料修理保証書が発行されています。内容をお確かめのうえ大切に保存してください。
2. 修理サービスは、お買い求めのミシンを末ながくご愛用いただけるよう無料修理保証期間内および経過後も、アフターサービスに万全を期していますので、購入店へ遠慮なくご相談ください。

### ★修理部品の保有期間

1. 交換修理に必要な動力伝達機能部品および縫製機能部品は、通常、製造打切り後8年間を基準にして、当社において保有しています。
2. 修理部品は必要に応じて、当社より購入店に供給できるよう体制を整えております。

### ★無料修理保証期間経過後の修理サービス

1. 取扱説明書に基づいて、正しいご使用とお手入れがされていれば無料修理保証期間を経過しても、修理部品保有期間中は購入店を通じて有料修理サービスをいたします。  
ただし、次のような場合は、有料でも修理できないときがありますので購入店へご相談ください。  
(1) 浸水、冠水、火災等、天災地変により故障または損傷したとき。  
(2) お買い求め後の移転または、輸送によって故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたって使用された場合、アフターサービスに万全を期しましても、新品同様の性能までに修理できないことがあります。
3. 有料サービスの場合の費用は、必要部品代、出張修理の場合は出張費、ミシン送付修理の場合は往復の送料、および購入店が別に定める技術料の合計額になります。

### アイシン家庭用機器販売株式会社

〒450 名古屋市中村区名駅4丁目10番27号

☎ (052)582-8501

ファクシミリ (052)582-5910

### アイシン精機株式会社

〒448 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

☎ フリーダイヤル 0120-24-8640

ファクシミリ 0566-24-9530

